

令和2年第2回定例会を終えて

令和2年八幡平市議会第2回定例会が、6月15日から6月24日までの10日間の会期で開会されました。諸般の報告では、市長から緊急事態宣言解除に伴い、新型コロナウイルス感染症に係る法定市対策本部を廃止したものの、任意の市対策本部を設置した旨の報告がありました。その後、(株)八幡平温泉開発の経営状況や令和元年度の繰越明許費計算書など4件の報告を受けました。

議案審議では、いわゆる10万円の特別定額給付金に関する令和2年度八幡平市一般会計補正予算の専決処分、平館コミュニティセンター建設工事および松尾地区保育所建設工事の請負契約、ロータリー除雪車の取得、令和2年度一般会計補正予算など18議案を審議し、全議案を原案のとおり可決しました。

一般質問は10人の議員が行い、新型コロナウイルス感染症対策について、テレビ・ラジオ難視聴地域解消について、スマート農業について、涼川・染田川の汚濁について、公共施設の老朽化と跡地利用について、大更駅前まちづくり事業について、水道事業会計について、運転免許証自主返納者の支援についてなど、市政について幅広く市当局と活発に議論しました。議員による一般質問は議会の活発化につながるとともに、多くの市民の皆様の声を市政に届けられるものと認識しております。

また、今回の定例会では一般質問、議案審議を通して新型コロナウイルス感染症対策についての議論が多くなされました。感染予防に関してはもちろんですが、宿泊業や飲食店の事業者を含めて影響を受けている方への経済的支援についてスピード感を持って行うべく、今後も市当局と議論、協力をしながら進めてまいります。

「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択の要請についての請願」は教育民生常任委員会に付託して十分に審議をし、本会議において採択されました。

最後に、今定例会では感染症対策として、傍聴者の方々へ連絡先を記入していただくなど、規制がありました事をお詫び申し上げるとともに、ご協力いただいた事に心より感謝申し上げます。今後とも市議会へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

令和2年7月2日

八幡平市議会

議長 工藤 剛